

エネルギー環境教育の ひろば

北海道エネルギー環境教育
研究委員会 広報部会
令和8年(2026年)
6月1日(月)発行
第63号



令和8年度総会開催 ー令和8年5月16日(土)ー



5月16日(土)、ホテルライフオーにて、令和8年度北海道エネルギー環境教育研究委員会総会を開催いたしました。初めに、札幌市立琴似中学校長 伊藤彰英委員長よりご参会の皆様にあいさつがありました。その中で「本会はエネルギーを切り口とした環境教育を推進し、関連する教科・校種の枠を超えながら、札幌、道南支部、旭川支部、道東支部と広く全道各地において幅広い活動を行うなど、全国的にも類を見ない系統的研究を積み重ねることで大きな成果を上げてきた。」「エネルギーを巡る状況が複雑さを増す現代において、子どもたちが未来を主体的に切り開くためのエネルギー環境教育の重要性は高まっている。持続可能な活動の推進と充実を合言葉に、本道の教育に貢献できるよう、誠心誠意尽力してまいる所存である。」と本会が向かうべき方向性を改めて示されました。

令和7年度活動報告・令和8年度活動計画

続いて、札幌市立もみじの森小学校長増谷忍幹事長より「令和7年度活動報告・令和8年度活動計画」についての説明がありました。始めに、令和7年度の成果と課題を確認すると共に、校種や教科の枠を超えた活動が本会の最大の特徴であることを改めて共通理解し、今年度も各部会の連動と3支部との連携により長期的に持続可能な活動の推進と充実を図っていくことが確認されました。次に、令和8年度の活動方針について、本研究委員会が設定したエネルギー環境教育の『研究仮説』について改めて検証しました。同時に学習指導要領と、我が国のエネルギー政策を捉えながら研究の方向性を確認し、異校種・異教科の全領域を対象として『エネルギー環境教育』に関する授業実践の充実を図ることが再確認されました。加えて、11月13日(金)に札幌市立八軒中学校にて開催する「第12回北海道エネルギー環境教育研究大会」に向け研究仮説の検証と研究の方向性と授業の在り方等、準備を進めていくとの説明がありました。また、7月31日(金)に北海道電力(株)の泊原子力発電所の視察研修を開催すること、令和9年2月13日(土)にホテルライフオー札幌を会場に、全体研修会として第12回大会の授業実践報告及び講演会を実施する旨の説明がありました。



各支部計画

各支部より令和7年度の報告と令和8年度の計画について報告がありました。以下に令和8年度の計画を抜粋して掲載します。

【道南支部】

【支部の活動】

- 学習会・授業研・実践交流…オンラインを活用しての研究実践
- 研究大会への参加
- 視察研修の実施
- 各研究団体との連携
- 【研究計画】
- 4月：事務局会議
- 5月：事務局会議・研究部会
- 6月：事務局会議・研究部会
- 7月：事務局会議・研究部会・各研究会との連携会議・視察研修(予定)
- 8月：役員会・事務局会議・研究部会・視察研修(予定)
- 9月：事務局会議・研究部会・各研究会との連携会議
- 10月：事務局会議・研究部会・道南支部授業研(予定)
- 11月：事務局会議・研究部会
- 12月：事務局会議・研究部会
- 1月：事務局会議・研究部会
- 2月：事務局会議
- 3月：役員会・事務局会議

【旭川支部】

○会議の開催

- 『旭川市教育研究会理科部総会』
令和8年4月9日(木)
- 『理科教育の3団体旭川・北海道道北支部総会』
令和8年5月14日(木)

○研修会の開催(予定)

- 『旭川市小中学校教育研究大会』
令和8年10月6日(火) 会場：講師 未定
- 北海道小学校理科研究会旭川支部との連携
『第73回北海道理科教育研究大会旭川大会』
令和8年10月9日(金) 会場：旭川市立大有小学校
- 『第64回北海道中学校理科研究会釧路大会』での研究発表
令和8年10月23日(金) 会場：釧路市生涯学習センター
- 各種研修会、勉強会への参加、研究補助
- 他の教育研究団体との連携と組織の拡大

【道東支部】

○事務局の活動

- ・6月 所属研究団体の連携と組織づくり・第1回事務局会議
- ・7月 第1回事務局会議・第1回副支部長会議
- ・8月 エネルギー施設見学会(未定)
- ・10月 第2回事務局会議
- ・10~12月 道東支部研究大会
- ・3月 第3回事務局会議・第2回副支部長会議
- エネルギー環境教育に関わる実践
- ・所属研究団体の全国・全道大会への協力
- 第61回北海道道徳教育研究大会釧路大会 10月9日(金)
- 第64回北海道中学校理科教育研究大会釧路大会 10月23日(金)
- 第81回北海道社会科教育釧路大会 10月30日(金)
- ・北海道電力ネットワーク(株) 釧路支店および株 釧路火力発電所との連携
- ・令和8年度道東支部研究大会(10~12月)
日時：会場・授業者：未定 教科：総合的な学習の時間
- ・各研究会等への参加
- ・所属研究団体への教材補助・実践交流

令和8年度役員人事

令和8年度の人事について以下のように承認されました。

○委員長	伊藤 彰英	札幌市立琴似中学校長	(中：技術)
○幹事長	増谷 忍	札幌市立もみじの森小学校長	(小：理科)
○幹 事	・ 開発部会長	柳剛 好明	札幌市立明園中学校長 (中：技術科)
	副部会長	森 剣治	札幌市立札苗北小学校教頭 (小：理科)
	・ 研究部会長	高梨 康人	札幌市立星置東小学校長 (小：社会科)
	副部会長	島田 貴弘	札幌市立幌東中学校長 (中：社会科)
	・ 広報部会長	小林 俊晴	札幌市立本通小学校長 (小：社会科)
	副部会長	南條 徳一	札幌市立栄東小学校長 (小：家庭科)
	・ 高校代表		
	・ 大学代表	佐藤 正直	北海道教育大学札幌校准教授
○理 事			
・ 研究団体代表	北海道生活科・総合的な学習教育連盟	西 宏	札幌市立北陽小学校長
	北海道小学校理科研究会	増谷 忍	札幌市立もみじの森小学校長
	北海道小学校家庭科教育連盟	南條 徳一	札幌市立栄東小学校長
	北海道社会科教育研究会	島田 貴弘	札幌市立幌東中学校長
	北海道社会科教育連盟	高梨 康人	札幌市立星置東小学校長
	北海道中学校理科教育研究会	熊谷 誠二	札幌市立八軒東中学校長
	北海道技術・家庭科教育研究会	柳剛 好明	札幌市立明園中学校長
	北海道道德教育研究会	長野 文洋	札幌市立開成小学校長
	北海道特別活動研究会	井田 敦	札幌市立北郷小学校 主幹教諭 (元：札幌市立大谷地東小学校長)
	北海道高等学校理科研究会		
	日本生物教育学会・北海道生物教育会		
	北海道大学エネルギー教育研究会	小崎 完	北海道大学大学院工学研究院教授
・ 支部長	道南支部長	若林 慎也	函館市立中央小学校長
	旭川支部長	安藤 陽	旭川市立神居東中学校長
	道東支部長	鈴木 穰	釧路市立共栄中学校長

講演『半導体について』講師：公立千歳科学技術大学

千歳シリコンリサーチセンター長 理工学部情報システム工学科 教授：福田 浩 氏

総会の報告に続いて行われた講演では、公立千歳科学技術大学 千歳シリコンリサーチセンター長 理工学部情報システム工学科教授福田浩氏に、『半導体について』という演題で講演していただきました。福田氏は、半導体がスマートフォン、自動車、家電、LED照明に至るまで、我々に不可欠な「世界で最も身近なスイッチ」であるという解説から講演が始まりました。半導体が私たちの生活を支える「超高速・長寿命のスイッチ」であることを説明し、その圧倒的な進化と、北海道新幹線の2倍以上に相当する約5兆円もの事業費が投じられる、ラピダス進出が北海道にもたらす、千歳を中心とした30km圏内への関連企業や農業・漁業のスマート化への波及は産業集積のチャンスであると強調されました。しかし、AI普及による電力消費の爆発的な増加という未来の課題に対し、その解決策として、電気通信を「光」に置き換える次世代技術「光電融合チップレット」の研究拠点が北海道に整備されることの重要性も提示していただきました。半導体産業は短期的には「シリコンサイクル」がありますが、長期的には右肩上がりに成長する産業であることから、この先端技術の拠点が、人々の生活を豊かにし、次世代の若者たちに大きな夢とチャンスを与えるだろうと、北海道の未来に強い期待を示してくださったところで、講演終了となりました。我々の知見がより一層深まるべく、幅広い観点からご講演いただき、大変勉強になりました。



【謝辞(高梨研究部会長より)】「半導体について」と題し、スイッチとしての基本機能から、生活を支える半導体の驚異的な動作速度と耐久性を分かりやすく解説していただいた。また、世界有数の巨大産業である半導体産業が、ラピダスの工場稼働を通じて北海道全体にもたらす経済波及効果について具体的な見通しを示唆していただいた。参加者は、シリコンウェハーに触れる貴重な経験をし、半導体が抱える課題と、それに対する教授の楽観的な見方も学びとなった。講演で得られた示唆に富む知見は、本研究会が進めるエネルギー・環境教育の活動において、新たな視点を与えるものとして確信を得ることができた。

